

経営比較分析表（平成29年度決算）

秋田県地方独立行政法人秋田県立病院機構 リハビリテーション・精神医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	23,340	非該当	15:1	

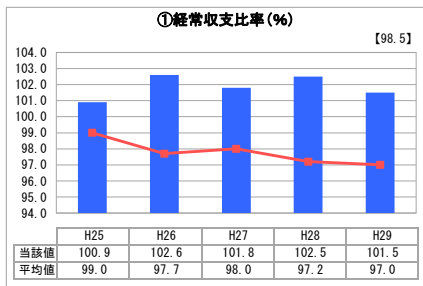
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

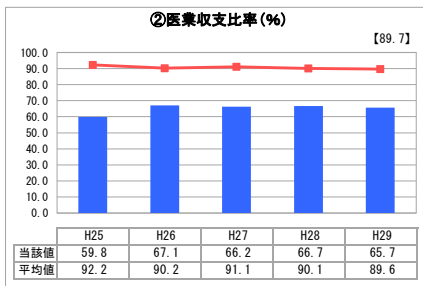
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
200	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
50	50	100

グラフ凡例
 ■ 当該病院値（当該値）
 - 類似病院平均値（平均値）
 【】 平成29年度全国平均

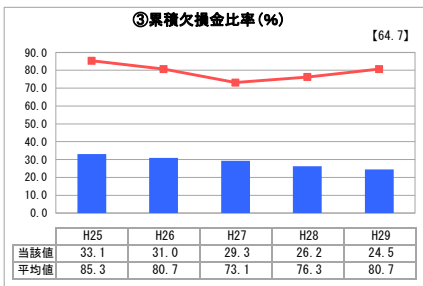
1. 経営の健全性・効率性



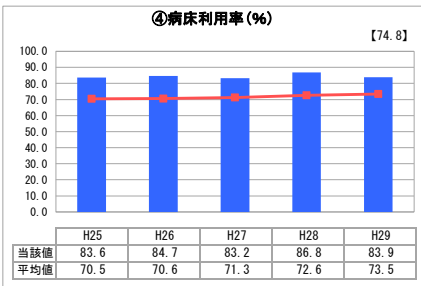
「経常損益」



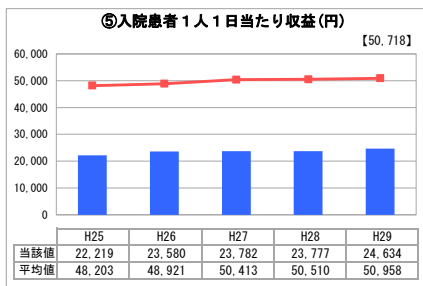
「医業損益」



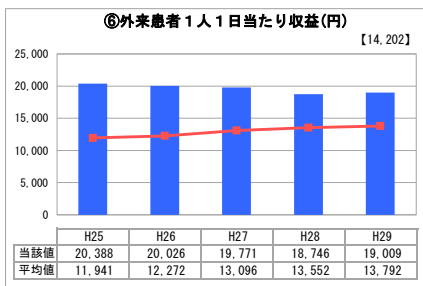
「累積欠損」



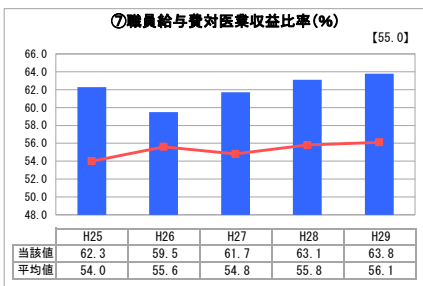
「施設の効率性」



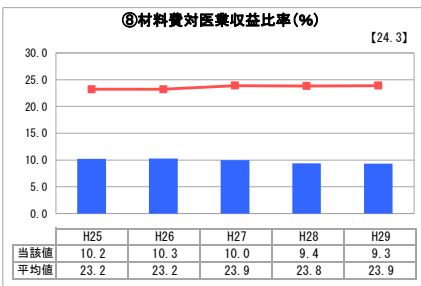
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

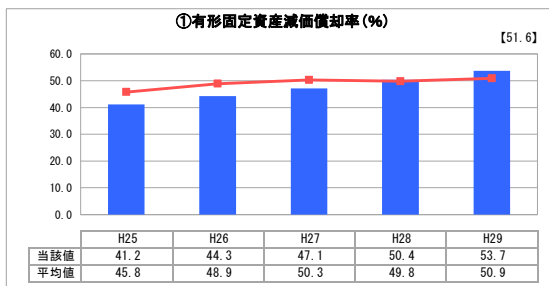


「費用の効率性①」

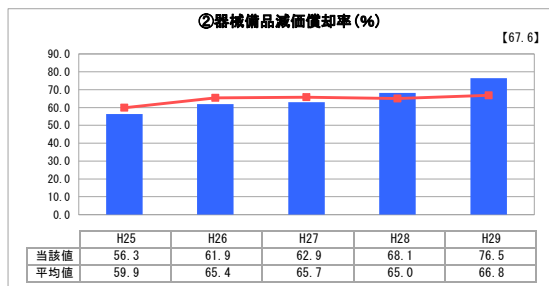


「費用の効率性②」

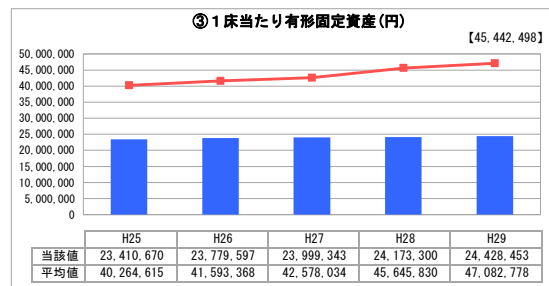
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

【精神科救急の全県拠点病院】
 秋田県精神科救急医療体制整備事業で位置づけられた精神科救急の全県拠点病院として、救急患者の受け入れを行っている。
 また、秋田周辺及び由利本荘・にかほ精神科救急医療圏の輪番制当番病院として、当番の受け入れ回数を増やすなどにより、地域における精神科救急病院としての役割を強化している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、建物附属設備の減価償却が終了した平成25年度から100%を越えている。
 ② 医業収支比率については、精神科救急の全県拠点病院として不採算部門を担っていることから全国平均を下回っている。
 ③ 累積欠損金比率については、平成25年度以降毎年純利益を計上していることから全国平均を下回っている。
 ④ 病床利用率については、前年度を下回ったものの、効率的なベッドコントロールにより全国平均を上回っている。
 ⑤ 入院患者1人1日当たり収益については、収益性の低い精神科を運営していることから全国平均を下回っている。
 ⑥ 外来患者1日1人当たり収益については、リハビリテーション及び精神科領域の専門的な治療を行っていることから全国平均を大きく上回っている。
 ⑦ 職員給与費対医業収益比率については、離職率が低いことから年々増加傾向にあり、また平均年齢が高いことから全国平均を大きく上回っている。
 ⑧ 材料費対医業収益率については、リハビリテーション及び精神科の専門施設であることから、平均値を大きく下回っている。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率および器械備品減価償却率については、年々増加傾向にあり、かつ平均値を上回っていることから、今後計画的に設備や医療機器等の更新を行っていく必要がある。

○1床当たり有形固定資産については、固定資産への投資は適切に行われていることから平均値を下回っている。

全体総括

平成29年度決算においては、150,431千円の純利益を計上した。今後も引き続き収益増大と費用圧縮に努めることにより、繰越欠損金の早期解消を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。